●モンタナの少年はこうして、いっちょ前のカウボーイになってゆく

「牧場を継ぐのは俺で6代目になるんだよ」という6歳のレーン・クレイマー。乗馬もできれば、羊の世話もできる。

カウボーイにとって、カウボーイハット、飾りベルト、ブルージーンズが正装だ。とくに帽子には各人かなりこだわりがある。

「カウボーイは老人にならないんだ。死ぬまでカウボーイだから」。牛の価格と馬の種付けについて楽しげに話し合うビッグボーイたち。

バーベキューランチのあとは、つかの間の昼寝を楽しむ。ボーズマンの気候は非常に乾燥しているため、木陰は常に涼しく快適。

翌朝6時牧場集合。KAWASAKI製の4輪のモーターバイクの運転の仕方を5分ほど習ってから、牧場主であるリックの後について広大な牧草地へと繰り出す。朝露がキラキラと輝く広大な牧場をバイクで突っ走るのは気持ちがいい。牧場のあちこちにある観覧車ほどもある巨大な散水機のバルブを次々と開けた途端、水がキレイな弧を描いて噴き出した。初夏の太陽はすでにじりじりと熱く、冷たい水しぶきの気持ちがいいこと！

一度牧場に戻って、ベーコン、スコーンとフレッシュバター、目玉焼き、コーヒーの朝食をたっぷりととった後、羊の群れを囲っているフェンスの修理に取り掛かる。ぐらぐらしているところや釘がとれかかっているところを見つけては、アメリカ製の巨大なハンマーと釘で直していく。子牛や羊が次々とやってきてはフンフンと鼻をおしつけてくるが、気にしてはいけない。

フェンスの修理は滞りなくこなせたものの、子牛のブランディングの手伝いは難易度が高かった。

隣のローバック牧場から手伝いに来たマーヴィンが、馬上からロープをくるくるっと投げて、逃げまどう子牛を捕まえる。そ

3歳から馬に乗っている子供たちは、4歳になるころには、乗馬の達人となる。学校が休みのときには、親と一緒に牧場の見回りをしたり、牧場の仕事を手伝うのが当たり前。

のまま引きずってこられた子牛をふたりがかりで押さえる。暴れまわっている子牛の後ろ脚をなんとか押さえていると、美少女メイガン（8歳）がじゅうじゅう焼けた鏝をもってきて、子牛のお尻にぎゅっと押し付けた。あたり一面に毛皮の焦げる匂いが漂い、子牛が悲しげなうめき声をあげた。

（ううっ）

「子牛が道に迷ったときや、盗まれたときに、印がついていないと取り戻せないんだよ」

思わず目をふさせた都会人をなぐさめるようにリックはいう。

「毛皮の表面を焼くだけだから、子牛もそれほど痛くないしね」

焼印を押された子牛は、解放されると、なにごともなかったかのように、ぴょんぴょんとどこかに跳んでいったから、本当なのかもしれないが。

そして、午後、300頭の牝牛を10人ほどで追いながら、別の牧草地に連れて行くキャトルドライブへ参加。牧場の子供たちは3歳で乗馬を覚える。3歳児が覚えられるのだから、カンタンなはず。と思ったが、それは大きな間違いだった。

「ヘイ、ヘイ」

と群れから離れようとする牛を追い立てながら、だれもが軽やかに馬を操っていくのに、なぜ私の馬だけがのんびりと立ち止まって、草などを食べているのか。

（前に進んでくれー）

「馬にバカにされているんだよ。自分が主人だということを馬に伝えないとダメだよ」

教えられたとおりに厳しく叱っても、わき腹を蹴っ飛ばしても我が馬は知らん顔で草を食むのみ。とうとう牧場で一番穏やかな性質の老馬と取り替えてもらい、ようやく前進を果たした。

牛を追いながら川を渡り、砂埃の舞う山道をゆき、花の咲き乱れる草原を横切る。壮大な夕暮れが訪れたころには、はぐれた子牛をひとりで連れ戻しに行かれるほどに上達した。

「あと2年ぐらいここに通えば、立派なカウボーイになれるさ」

一日の終わりは、焚き火を囲んで、牧場産のナチュラルビーフのバーベキューと冷たいビール。空には満天の星。おいしいなあ。

生きるってこういうことだよな。自然と組んずほぐれつ一日を過ごすことだよな。

日本からモンタナ州ボーズマンまでの道のりは決して近くはない。けれど、そこで待っている休日は、生涯忘れえぬ満ち足りた記憶となるだろう。きっと。

今月はベースボールとファッションの2大特集！

ラピタ

大人の少年誌
High-quality & Grown-up Style Magazine
LAPITA
http://www.lapita.net/

4月号
April 2004
定価780円

開幕インタビュー
永遠の野球少年が、アテネで見る夢

長嶋茂雄

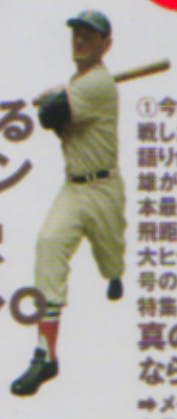
LAPITA SPECIAL INTERVIEW

少年の日の自分に戻れる
"遊び"のタイムマシーン

創刊100号記念
スポーツ特集
プレイボール！

野球。

Take me out to the ballgame!



①今季、NYで「ふたりのマツイ」対決を観戦した夜、その興奮を現地の野球ファンと語り合えるバー、ご存じですか？②長嶋茂雄が野球の病になったきっかけは？③日本最大のバッティングセンターはどこ？④飛距離が飛躍的に伸びる軟式バット界の大ヒット商品を作ったのは？⑤野球盤第1号の誕生年は？以上の答えは、P58～の特集にてお読みください。

真の野球ファンなら必読です。

➡メイド・イン・USA、クラシカルな木製野球盤は、なんと一人で遊べてしまうのです。もちろんスリーアウトごとに交代して競うことも可能。大人ほどハマるんですなぁ。

特集／本誌イチ推し32アイテム

大人の春・夏ファッションベストバイガイド

春めいた陽ざしに心も弾みます。そんな春から夏の**趣味生活**をさらに楽しくするのが洋服や小物たちです。そこで今回の特集では、本誌で活躍のスタイリスト4人が中心となって「**これぞ！**」という服飾品を選び出しました。大人にこそ身につけてほしい、上質で使い心地の良いモノばかりです。奇をてらったものはありませんが、長く愛用でき、あなたの**品格までをもあげてくれる逸品**ぞろいと自負しています。自信のラインアップなので、ビジュアルもチマチマさせず、1ページに1点。堂々たる露出を心がけました。

32商品の競演です。

別冊付録
大人の逸品通販カタログ

怒濤の新連載！

趣味人養成講座10大コラム開講！
中古カメラ・オーディオ・鉄道模型といった悪魔の趣味へ誘う禁断のコラム集がスタートしました。どさくさに紛れて、好き勝手言いたい放題の自慢話も交じっているかもしれません。偽物にご注意！でも趣味のない貴方もご安心、**室井佑月の「男磨き」講座**で、一発逆転を狙いましょう。

今月ウワサの商品

●天使が翼を広げ……そこから夢のような**天空の音楽**が！今、高感度人間の間でウワサの**B&Oの最新機**に注目。
●14万円の**レミーマルタン**は**バカラ**と**ダイヤモンド**と親密な関係とのウワサ。
●デジカメ界の最新2大ヒーローは**ニコンD70**と**ライカデジルックス2**。さてさてデジカメは本当に頭打を超えたのか。●スマート人気、衰え知らず。ヨーロッパで**ウワサのスマートforfour**に密着。そのウワサの真相を確かめに大家編集長自ら**イタリアへ取材敢行**！●ランドローバー兄弟の末っ子は、やんちゃで楽しい。と、本誌クルマ担当のヒロタも絶賛。●一方、**武装派ハマー**は廉価版投入でニッポンの道路を封鎖か!?